

国際審判員 塚田 秀樹 (京都ボート協会)

ARF 主催 ASIAN CUP I が 2016 年 6 月 4 日 (土) ~5 日 (日) の 2 日間の競技日程で開催されました。当地 (テヘラン) では昨年度アジアカップ II を開催予定でしたがキャンセルになったという経緯があります。今大会も事前に競技日程を変更するなどあわただしく開催された感があります。しかし、結果的には大変有意義な大会となったことと思います。オリンピック開催年でもあり、開催国 IRI をはじめオリンピックへ参加する各国の参加を集め熱戦が繰り広げられました。以下に報告をいたします。

現地へは 6 月 3 日 (木) 午後 3 時過ぎに着きました。OC の迎えにより車で 40 分程度で会場の Azadi Sports Complex へ着きました。すでにチームマネージャーミーティング (TMM)、審判会議は終わっており、各審判員はコース設備を視察していました。今大会の審判員は以下の通りです。

審判長	Bing Liang	CHN	1503
Jury member	Hideki Tsukada	JPN	1628
	Maryam KHOSRAVANI	IRI	1668
	Asma NIKVAR	IRI	1653
	Pongsaran PANTANGTHAI	THA	1712
	Wai Lun CHEUNG	HKG	1731
	Kin Wah SIU	HKG	1228
	Lasantha WELIKALA	SRI	1700

以上 8 名です、なお、事前に予定されていた審判員の内 3 名がキャンセル (MYA,PAK,IND) となっています。また、大会 2 日目は審判長の Bing Liang 氏が不在となったため (初日の夜に帰国されました。)、Kin Wah SIU 氏が審判長となり INA の Event Committee Edy Suyyono 氏が加わりました。

今大会のコース、食事場所、宿泊場所は選手も審判員も皆徒歩で移動できる範囲内 (スポーツ複合施設) に集まっています。

到着日はコース下見の後、宿泊部屋 (今回は選手も審判員も 2 段ベッドのドミトリーです。) に荷物を置き、Accreditation Room で写真を撮ってもらいました。カードは明日渡すということで食事会場 (朝、昼、夕 3 食とも同一会場です。選手も役員も一緒です。) へ行き夕食を食べました、すべてバイキング方式です。写真を撮ってこなかったのですがナンと言うのでしょうか? 固い目の物と柔らかい目の物 2 種類が主食としてたっぷり用意され、肉料理が 1 品必ずあります、後はサラダが数種類用意されています。その後私は早々に就寝しました。

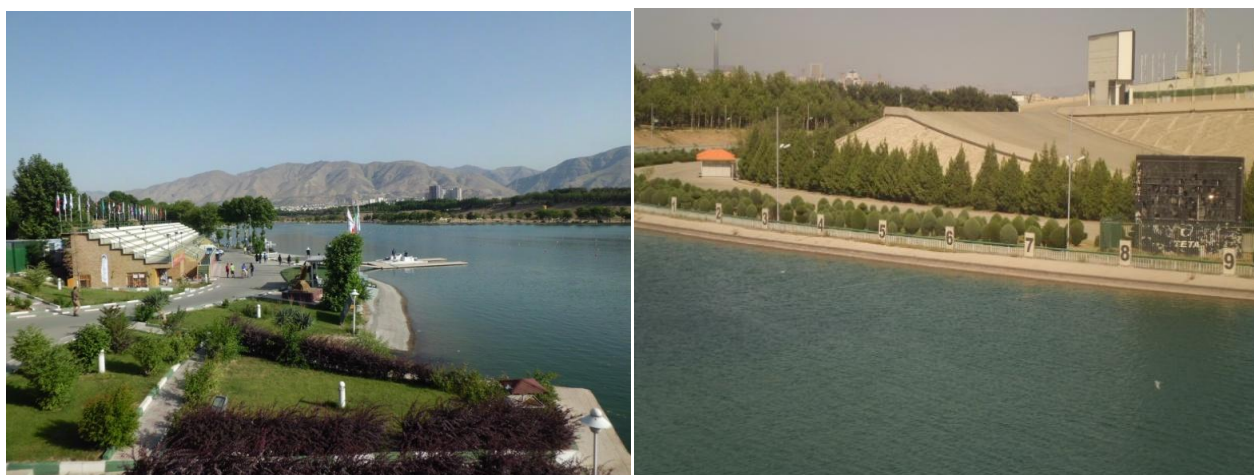


写真 (左) は判定塔 (本部) からスタート方向を見たところです。左手のスタンド (応援席) の下に食堂 (3 食の会場) とアクレディテーションルームがあります。写真 (右) は判定塔からフィニッシュ後方を見たところです。大きなスタジアム (自転車競技場) があり、このスタジアムの観客席の下に今回選手団と審判団の宿泊場となったドミトリーがあります。コースは 1000m 9 レーンまであります。くぼ地をコンクリ

ートで固め水をひいて作った人造湖（池）です。

4日（土）競技初日です。



参加国は、  
シンガポール  
インドネシア  
カザフスタン  
タイ  
朝鮮民主主義人民共和国  
イラク  
イラン  
7カ国です。

初日の実施種目はすべて500mの、  
シングルスカル（男）・・・9クルー  
シングルスカル（女）・・・9クルー  
軽量級シングルスカル（男）・・・8クルー  
軽量級シングルスカル（女）・・・6クルー  
予選および Preliminary (9:00～9:48、8分間隔) 7レース、  
敗復 (10:40～10:56、8分間隔) 3レース、決勝 (16:00～  
16:36、12分間隔) 4レース、全14レースです。

私の担当した部署配置は、以下の通りです。

AM (予選、敗復)      Finish Judge  
PM (決勝)              Umpire (2レース担当)



写真（左）参加各国への連絡事項、レース結果、組み合わせ等を連絡するためにこのレターケースに入れます、写真（右）判定席です。ここに私 (Finish Judge) と NTO2 名が座りストップウォッチとブザーを担当します。私は着順を判断します。そして、写真（下）の Results sheet が出されます、それぞれチェックします。

2016 Asian Rowing Cup 1 Tehran, Iran 4 - 5 June 2016

Results - 2016/06/04 - Saturday

Race 01 / M1x 500m / Heat 1

Rank	Lane	Ctry Code	Name(s)	Finish	Progression System
1	5	KAZ	V.YAKOVLEV	01:40.631	1-2: FA 3-5 R
2	4	IRI2	S.SAEIDKHARAYEM	01:41.917	1-2: FA 3-5 R
3	2	INA	WIKO	01:46.547	1-2: FA 3-5 R
4	1	IRI3	S.NADERIHEZARKHANI	01:49.793	1-2: FA 3-5 R
5	3	IRQ	O.ALDULAIMI	01:55.969	1-2: FA 3-5 R

そのあと本来は Resp. Judges Finish (この時は審判長の Liang 氏が兼務) がサインをするのですが、この時は私がサインをして、Official Result (正式記録) となります。なお、写真は第一レースですが RANK (一番左端) が間違っていました (Lane と一緒です。) このような日本ではあまりないミスも結構ありました。

タイム計測方法は、本部内に発艇員の GO 号令が放送で聞けますので、NTO (ストップウォッチ係が押して) 判定席まで戻ってきます。本部内ではフィニッシュラインモニターを見ている技師がタイム計測します。(戸田のシステムと同様な感じです。) 特別業者を招いてはいませんでした。判定のブザーは電気式です。アジアでは珍しいです。



万一ならなかった場合に使う、口で吹いて「ブツ」と鳴らすラッパです。



午後は主審 (M2) です。SRI の KALA 氏と担当です。氏は無線で私に 250m 付近で待機しているように伝えたのですが、私が勘違いをして 250m くらいまでサブで追行してしまいました。国際大会では 2 艇の主審艇で追行することはあまりありません。

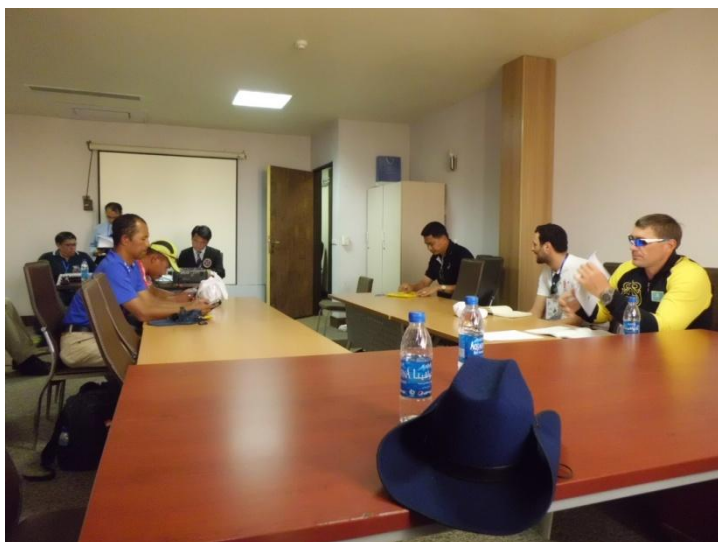
このコースのポンツーンは中央に主審艇用のへこみがないのでコース端から付かなければなりません、それでも 1 艇で追います。

写真 (左) は発艇槽です、昨年のシンガポールでのアジアカップの時も同様でしたが、屋根が低く赤旗を頭上に持って行くことが出来ません、よって目の前で旗を振るような感じになります。

写真 (右) はポンツーンです、各レーンに前後に移動させる栈橋がないのでボートホルダーは手の伸縮のみでの調整となります。



表彰式の様子です。



競技初日レース終了後のチームマネージャーミーティングです。SINは参加していません。SINは2日目のペアー（2ー）に1クルー参加で選手だけで来ていました。会議の最後にマイク・ターナー氏が「大会に参加してくれてありがとう。このような新しい大会を今後育てていきたい、協力お願いいたします。」というような挨拶をされていました。

また、今大会には FISA resident の

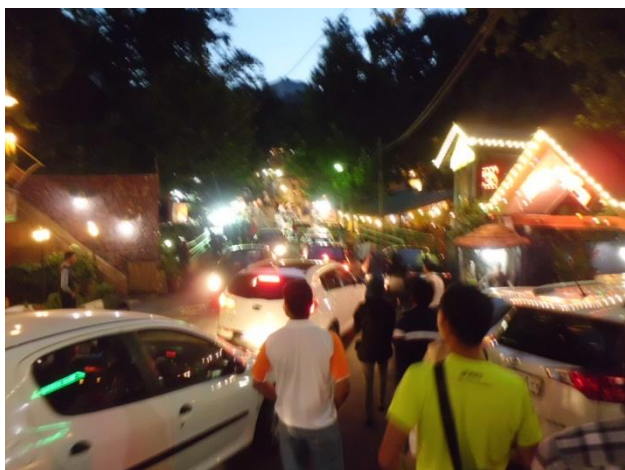
Jean-Christophe Rolland 氏が来ておられました。

FISA の関心が高い地域ようです。

この日の夕食後、夜に今回唯一スポーツコンプレックスの外へ出ました。地元 ITO の NIKVAR 氏と KHOSRAVANIAN 氏が ITO メンバーをテヘラン北部郊外で山の中腹にある避暑地っぽい 歓楽街へ連れて行ってくれました。お茶とダーツのスイーツでおしゃべりです。ナンを焼いている店です。



右はテヘランを象徴するタワーです。  
下は ITO メンバーで入る店を探しています。





2日目(5日)競技最終日です。この日のレースはすべて1000m、コースを目いっぱい使います。

種目はシングルスカル (男) 9クルー

シングルスカル (女) 8クルー

軽量級シングルスカル (男) 6クルー (7クルー エントリーでしたが1クルー計量に来なかったため1レースなくなりました。

軽量級シングルスカル (女) 6クルー

舵手なしペアー (男) 6クルー

ダブルスカル (女) 7クルー

軽量級ダブルスカル (男) 3クルー

軽量級ダブルスカル (女) 6クルー

以上8種目です。

予選および Preliminary (9:00~9:56、10:20~10:52、8分間隔) 12レース、敗復 (11:04~11:36、8分間隔) 5レース、決勝 (16:00~17:24、12分間隔) 8レース、全25レースです。

私の担当した部署配置は、以下の通りです。

AM (予選、敗復) Umpire 3 (5レース担当)

PM (決勝) Resp. Judges Finish

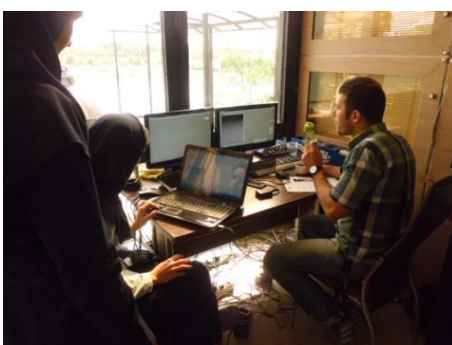
主審艇です。日本で使われている物とほぼ一緒です。

主審艇よりスタートポンツーンを見たところです。

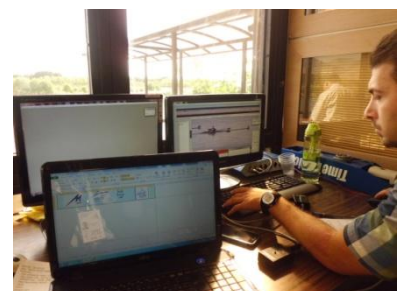


この日は主審艇を3艇で回したのですが、驚いたことにハンドマイクが2個しかないのです。最初M1が使い終わったらM3に渡すということだったのですが、当然うまくいきません。よって最終的にはハンドマイクなしで主審をしました。白旗を揚げるのが一度もなかったのかというと、そうではなく、肉声で叫びました。

午後は Resp.Judges Finish ですので、本部内で、Result sheet が出てきたら、Rank Lane Time 等を確認し、正しければサインをして Official result です。昨日は Finish Judge でしたが、この作業をしました。本日は審判長代理の SIU 氏 (HKG) が Finish Judge だったので氏がサインするののかと思いきや、本日も私が Official を出しました。本日もレース番号や種目名 (すべて決勝 Final 担当でしたが Haet などになっていたりしました。) の間違いを発見しました。



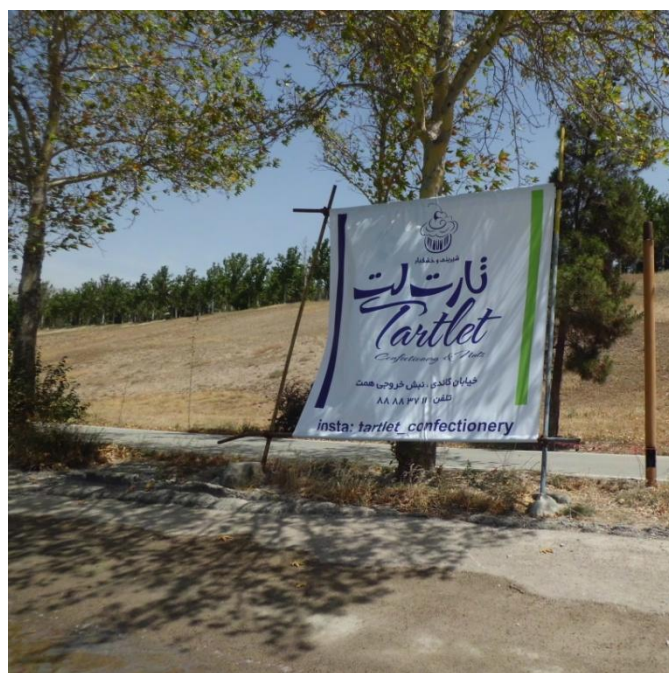
本部内の写真判定スタッフです。



そしてほぼ定刻通りに全レースが終了しました。その後私はシャワーを浴びて会場を後に帰国のため空港に向かうことになります。会場では表彰の後夜7時からの Closing ceremony がありました。参加できませんでした。FISA 会長もスピーチした事でしょう。以下大会の様子を写真で紹介します。最終日の決勝は TV で中継されました。(下左)。スポーツコンプレックスの入り口を見たところです。体育館、陸上競技場、すべてあります。(下右)



スポンサーです。Confectionery とあります。イランの方はスイーツが好きです。(下右)



黄色・黒ではありません。





線審小屋です。



6月初めで気温は30度を超えますが、湿度は一桁から10数%、からっとしています



音楽で会場を盛り上げます。



朝鮮民主主義人民共和国(PRK)の応援団です。軽量級男子シングルスカルが2位に入りました。



地元イラン選手です。



レンタル艇はSwift Racingです。



エルゴです、競技初日にはテントが張られていました。





本部建物（判定塔）です。イランの協会はボート、カヌー、セイリング 3 競技が一緒の協会です。

以上、大会参加報告いたします。

参加国 7 カ国、参加選手数 63 名と規模こそ小さい大会でしたが、この地域でのボート競技が盛んになるきっかけとなることと思います。今参加国はオリンピックに参加する国がほとんどです、シングルの参加ですが個のアジア地域でのボート発展に貢献する結果となるよう切に望みます。

今大会への派遣につきまして、日本ボート協会には大変お世話になりました。約 1 か月前に正式な日程が決まるなど、渡航の手配に関してもお手数をおかけいたしました。結果として無事に審判を務めて来られたのも皆様方のご理解ご協力の事と御礼申し上げます。アジアカップという大会が今後も発展していくようわずかでも協力していきたいと思ひます。

ありがとうございました。